

Deloitte.

デロイト トーマツ



ESGソリューションサービスを展開する 各社との対談シリーズ：参考資料 ～日本アイ・ビー・エム株式会社様との対談～

デロイト トーマツグループ

(本資料の情報は 2023/10/1時点のものです)

アンケート回答 (1 of 3)

対談に際し、ご回答いただいたアンケートです。

No.	分類	設問	回答欄
1	製品概要	ESGソリューションの製品名、製品タイプ、注力領域、製品概要（200文字以内）、セキュリティ関連、価格体系を回答ください。価格体系についてはA4×1枚で補足資料を提供ください。	<ul style="list-style-type: none"> ・ ESGソリューション製品名（既にローンチされている製品、複数ある場合は主要3製品まで）： IBM Envizi ESG Suite ・ 製品タイプ（以下より単一選択） <ul style="list-style-type: none"> ○ SaaS型（基本的なカスタマイズに対応） ● SaaS型（個社要件に応じた柔軟なカスタマイズが可能） ○ オンプレミス・ローコード型 ○ オンプレミス・ノーコード型 ○ その他（製品概要に記載） ・ 最も注力する領域（以下より単一選択） <ul style="list-style-type: none"> ○ 各種フレームワークに標準対応した情報開示 ● ワークフロー/内部統制/監査証跡/内部管理 ○ 経営管理/意思決定サポート/マネジメントツール ○ 非財務情報（GHG排出量等）収集/算定/可視化/モニタリング ○ サプライチェーンリスク・機会評価 ○ 製品/サービス影響評価 ○ 他社/業界/外部連携プラットフォーム ○ その他（製品概要に記載） ・ 製品概要（200文字以内）：IBM Enviziは2004年にオーストラリアで設立され、企業の透明性ある情報開示と脱炭素に向けた取り組みをサポートするESG データ管理プラットフォームです。企業のデータに基づいた着実なサステナビリティ・ジャーニー推進を実現します。 ・ セキュリティ関連 <ul style="list-style-type: none"> ■ ISMS認証取得（ISO/IEC27001など） ■ 認証機能（ログインなど） ■ 機能制限・権限制御 ■ データの暗号化 ■ 不正検知・監視機能 ・ 価格体系 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> パッケージ料金制 ■ 従量課金制 <input type="checkbox"/> その他の価格体系（下記に記載：50文字内）：
2	主要ターゲット	最も注力する企業規模を選択ください。	<ul style="list-style-type: none"> ● グローバルに事業展開する大企業 ○ 主に国内で事業展開する大企業 ○ 中小企業 ○ ベンチャー・スタートアップ
3	対象領域	貴社製品が対象範囲とするESG領域を回答ください。（複数選択）	<ul style="list-style-type: none"> ■ 気候変動・脱炭素（下記より選択） <ul style="list-style-type: none"> ■ Scope1 ■ Scope2 ■ Scope3 <input type="checkbox"/> 製品カーボンフットプリント <input type="checkbox"/> 資源循環・サーキュラーエコミー <input type="checkbox"/> 水資源 <input type="checkbox"/> 化学物質・汚染の予防 <input type="checkbox"/> 自然資本・生物多様性 <input type="checkbox"/> 人事・労務 <input type="checkbox"/> 労働安全衛生 <input type="checkbox"/> 人権 <input type="checkbox"/> 調達・サプライチェーン <input type="checkbox"/> 社会貢献 <input type="checkbox"/> コーポレートガバナンス <input type="checkbox"/> コンプライアンス <input type="checkbox"/> リスクマネジメント <input type="checkbox"/> その他のESG領域（下記に記載：50文字内）：

アンケート回答 (2 of 3)

対談に際し、ご回答いただいたアンケートです。

No.	分類	設問	回答欄
4.	基本機能 (インプット)	データのインプットに関して、既に実装されている標準機能を回答ください。 (複数選択)	<ul style="list-style-type: none"> ■ マニュアル入力 ■ ファイルのインポート (エクセルやCSVファイルなどの取り込みを想定) ■ 社内他システムからの連携・インポート※ (会計、生産管理、人事、廃棄物管理、等を想定) ■ 社外他システムからの連携・インポート※ (排出原単位DB、サプライチェーン、顧客、業界プラットフォーム、ESG評価機関DB、等を想定) ■ サプライヤー等、外部ユーザーによるマニュアル入力・ファイルインポート等による入力 (取引先からのGHG排出量等を想定) ■ 入力エラーチェック機能 ■ 複数言語対応 ■ 対象データ ■ 定量情報 (各種活動量等を想定) ■ 定性情報 (推進体制、各種方針等を想定) <p><input type="checkbox"/> その他のインプット機能 (下記に記載: 50文字内) :</p> <p>※他システムからの連携で制約条件等があれば記載ください (下記に記載: 200文字以内) :</p>
5.	基本機能 (プロセス)	インプットしたデータの処理に関して、既に実装されている標準機能を回答ください。 (複数選択)	<ul style="list-style-type: none"> ■ データの蓄積・保管 ■ 傾向分析 <input type="checkbox"/> 将来予測 <input type="checkbox"/> シミュレーション <input type="checkbox"/> AI連携機能 (例: ESGの取り組みが株価の時価総額に与える影響をAIモデルによってシミュレーション可能、など) ■ 単位変換 ■ 係数換算 ■ 階層・組織別集計 標準対応している階層・組織数を記載ください () <input type="checkbox"/> 報告先毎の換算係数制御 (温対法・省エネ法、GHGプロトコル等を想定) ■ KPI自動計算 (下記より選択) <ul style="list-style-type: none"> ■ Scope1排出量 ■ Scope2排出量 ■ Scope3排出量 ■ リサイクル率 (廃棄物) <input type="checkbox"/> リサイクル率 (水) ■ 女性管理職比率 <input type="checkbox"/> 男性育児休暇取得率 <input type="checkbox"/> 男女間賃金格差 <input type="checkbox"/> 人材育成時間・費用 (一人当たり) ■ 度数率・強度率 ■ 平均年齢・平均勤続年数 <input type="checkbox"/> 離職率 <input type="checkbox"/> 独立社外取締役比率 <input type="checkbox"/> 女性取締役比率 <p>■ その他のKPI (下記に記載: 50文字内) : 標準対応していないKPIに関しても、システム構成時に追加対応が可能です。</p>
6.	基本機能 (アウトプット)	処理結果のアウトプットに関して、既に実装されている標準機能を回答ください。 (複数選択)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 標準テンプレートやダッシュボード画面への出力 ■ カスタム形式での出力 ■ 開示・報告フレームワークに対応した出力 (下記より複数選択) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 省エネ法 <input type="checkbox"/> 温対法 ■ GRI ■ SASB ■ TCFD <input type="checkbox"/> TNFD ■ 米国SEC気候変動開示規則 ■ 欧州CSRD・ESRS <input type="checkbox"/> ISSB S1・S2 ■ 目標未達等の設定基準に基づく自動アラート ■ 権限制御 ■ 社内他システムへの連携・エクスポート※ ■ 社外他システムへの連携・エクスポート※ <p><input type="checkbox"/> その他のアウトプット機能 (下記に記載: 50文字内) :</p> <p>※他システムへの連携で制約条件等があれば記載ください (下記に記載: 200文字以内) :</p>

アンケート回答 (3 of 3)

対談に際し、ご回答いただいたアンケートです。

No.	分類	設問	回答欄
7	製品・機能	貴社製品に内包されている気候変動・脱炭素に係る係数を回答ください。 (複数選択)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地球温暖化係数 (GWP) ■ スコープ1 換算係数 (地球温暖化対策推進法に基づき温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度における排出係数等を想定) ■ スコープ2 ロケーション基準への対応係数 (IEA 各国平均係数やIGESのCDMデータベース等を想定) ■ スコープ2 マーケット基準への対応係数 (電力事業者排出係数等を想定) ■ スコープ3 (係数対応しているカテゴリを以下より選択) <ul style="list-style-type: none"> ■ Cat.1 ■ Cat.2 ■ Cat.3 ■ Cat.4 ■ Cat.5 ■ Cat.6 ■ Cat.7 ■ Cat.8 ■ Cat.9 ■ Cat.10 ■ Cat.11 ■ Cat.12 ■ Cat.13 ■ Cat.14 ■ Cat.15 <input type="checkbox"/> ライフサイクルインベントリ (LCI) データベース (____) <p><input type="checkbox"/> その他の係数 (下記に記載: 50文字以内) :</p> <p>上記係数に関する補足があれば (100文字以内) : Enviziが標準で内蔵する係数一覧はこちら: https://knowledgebase.envizi.com/home/managed-emission-factors</p>
8	導入実績	導入実績について回答ください。 総数 (社、拠点、ユーザー) は全導入実績の合計数で回答ください。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 総社数 (以下より単一選択) <ul style="list-style-type: none"> <input type="radio"/> ~10 <input type="radio"/> ~100 <input checked="" type="radio"/> ~1,000 <input type="radio"/> ~10,000 <input type="radio"/> ~100,000 <input type="radio"/> 100,000~ ・ 総拠点数 (以下より単一選択) <ul style="list-style-type: none"> <input type="radio"/> ~10 <input type="radio"/> ~100 <input type="radio"/> ~1,000 <input type="radio"/> ~10,000 <input type="radio"/> ~100,000 <input checked="" type="radio"/> 100,000~ ・ 総ユーザー数 (以下より単一選択) <ul style="list-style-type: none"> <input type="radio"/> ~10 <input type="radio"/> ~100 <input type="radio"/> ~1,000 <input checked="" type="radio"/> ~10,000 <input type="radio"/> ~100,000 <input type="radio"/> 100,000~ ・ 導入実績の多い国・地域 (以下より単一選択) <ul style="list-style-type: none"> <input type="radio"/> 日本国内 <input checked="" type="radio"/> 海外 ・ 最も導入実績の多い企業規模 (以下より単一選択) <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> グローバルに事業展開する大企業 <input type="radio"/> 主に国内で事業展開する大企業 <input type="radio"/> 中小企業 <input type="radio"/> ベンチャー・スタートアップ ■ 外部システムとの接続実績 (主要接続先を3つ以内で記載ください) <ul style="list-style-type: none"> 1 : (ERP) 、 2 : (ビル管理システム: BMS) 、 3 : (Urjanet) <input type="checkbox"/> 導入実績なし
9	体制	導入支援体制や標準的な導入期間、導入後のサポート体制について回答ください。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 導入支援体制の総人員数 (以下より単一選択) <ul style="list-style-type: none"> <input type="radio"/> ~10 <input type="radio"/> ~100 <input checked="" type="radio"/> ~1,000 <input type="radio"/> ~10,000 <input type="radio"/> 10,000~ ・ 社外協力ベンダー認定制度 (以下より単一選択) <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない <input type="radio"/> 検討中 ・ 社外協力ベンダーの総人員数 (社外・パートナー企業で以下より単一選択) <ul style="list-style-type: none"> <input type="radio"/> ~10 <input type="radio"/> ~100 <input checked="" type="radio"/> ~1,000 <input type="radio"/> ~10,000 <input type="radio"/> 10,000~ ・ 標準的な導入期間 (以下より単一選択) <ul style="list-style-type: none"> <input type="radio"/> ~1ヶ月 <input type="radio"/> 1ヶ月~半年 <input checked="" type="radio"/> 半年~1年 <input type="radio"/> 1年~2年 <input type="radio"/> 2年~ ・ 導入後支援体制の人員数 (社内で以下より単一選択) <ul style="list-style-type: none"> <input type="radio"/> ~10 <input type="radio"/> ~100 <input checked="" type="radio"/> ~1,000 <input type="radio"/> ~10,000 <input type="radio"/> 10,000~ ・ 導入後支援体制の人員数 (社外・パートナー企業で以下より単一選択) <ul style="list-style-type: none"> <input type="radio"/> ~10 <input type="radio"/> ~100 <input checked="" type="radio"/> ~1,000 <input type="radio"/> ~10,000 <input type="radio"/> 10,000~ ・ 導入後のサポート機能 (以下より複数選択) <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> ヘルプデスク <input checked="" type="checkbox"/> メール <input checked="" type="checkbox"/> チャット <input checked="" type="checkbox"/> 通話 <input checked="" type="checkbox"/> 左記の多言語対応
10	拡張	今後、拡張予定の領域や機能について回答ください。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 拡張予定 (200文字以内) : Enviziでは基本的に毎四半期毎に機能拡張を計画しており、2023年は自然言語(NLP)などAIを利用したスコープ3/サプライチェーン領域の機能強化およびシステム連携機能の拡充を予定しております。

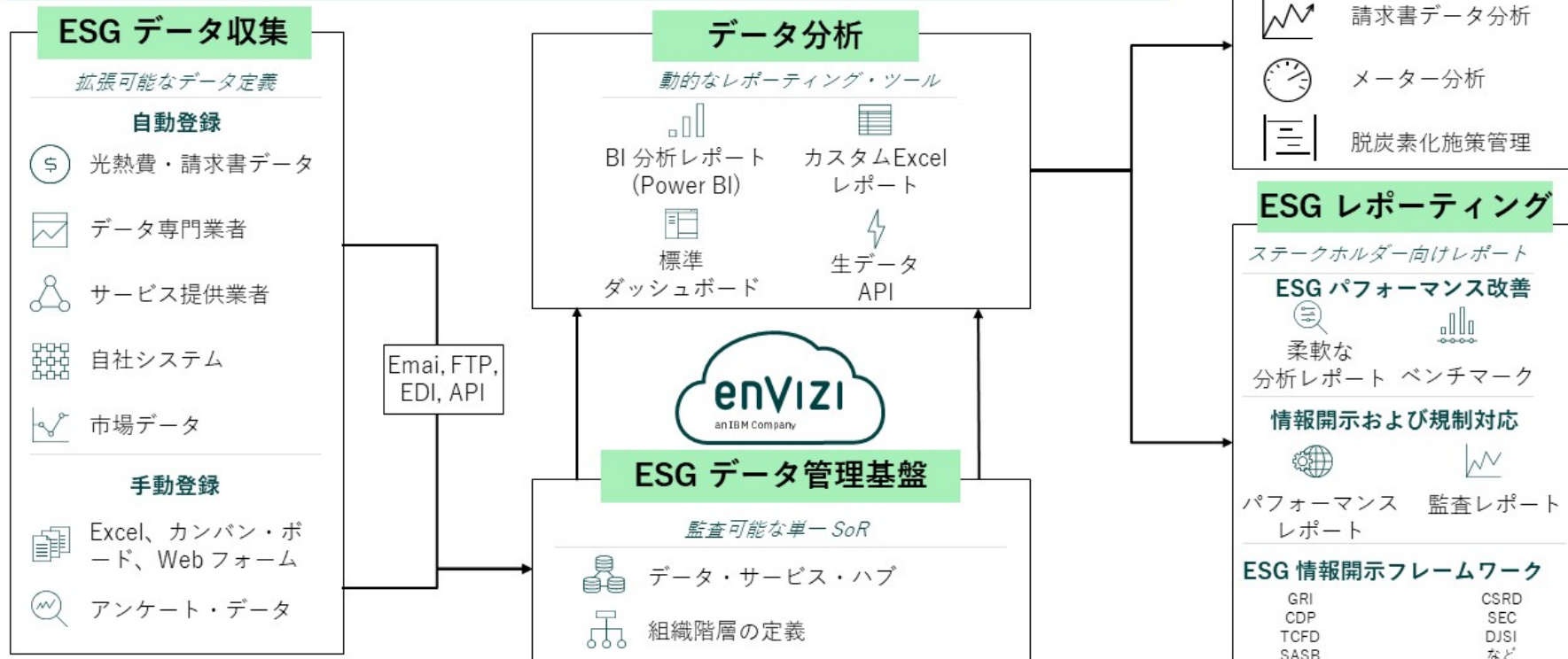
日本アイ・ビー・エム株式会社様からのご提供資料 (1 of 3)

対談に際し、ご提供いただいた資料です。

IBM Envizi 単一データ管理基盤

- 透明性
- 脱炭素化
- 単一データ基盤
- 最新追従機能
- 機能拡張性

90%以上の対象データをシステム連携により自動収集し、ESG 単一データ管理基盤を実現している利用ユーザーも多く存在します。



日本アイ・ビー・エム株式会社様からのご提供資料（2 of 3）

対談に際し、ご提供いただいた資料です。

ESG データ管理プラットフォーム IBM Envizi ESG Suite

Enviziは2004年にオーストラリアで設立され、**企業の透明性ある情報開示と脱炭素に向けた取り組みをサポートするESG データ管理プラットフォーム**です。企業のデータに基づいた着実な**サステナビリティ・ジャーニー推進**を実現します。

Enviziの特徴



Enviziの提供モジュール



日本アイ・ビー・エム株式会社様からのご提供資料（3 of 3）

対談に際し、ご提供いただいた資料です。

IBM Envizi ライセンス体系

EnviziはApp Point（AP）と呼ばれる使用量に応じたライセンス体系となっています。

使用するモジュールやアカウント数（データポイント数）によって必要なApp Point数が決まり、合計のApp Pointによってライセンス費用が確定します。

分類	コンポーネント	App Point 数 / 月	追加 App Point 数	補足情報
前提 モジュール	Data Management Base	55	500 アカウントあたり7 ※（500アカウントあたり2）	1,000 アカウントはデフォルトで含む ※合計10,000アカウントを超えると、500アカウントあたり 2AppPointの追加となる
	Interval Metering Base	11	-	Data Management Baseを選択しなかった場合の前提モジュール
基本 モジュール	GHG スコープ 1/2	26	-	Data Management Base が必要
	GHG スコープ3	26	-	Data Management Base が必要
	目標値の設定/追跡	15	-	
追加 モジュール	ESG 情報開示フレームワーク対応	25	-	Scope 1&2 が必要
	ビルディングレーティングベンチマーク	15	-	Scope 1&2 が必要
	バリューチェーンサーベイアセスメント	32	100取引先あたり8	Scope 1&2、または Scope 3、または Utility Bill Analytics が必要 （100取引先はデフォルトで含む）
最適化 モジュール	公益エネルギーデータの分析	15	-	Data Management Base が必要
	メーターデータの分析	5	10 メーターあたり2	Interval Metering Base または Data Management Base が必要
	脱炭素化施策管理	19	-	Scope 1&2、または Scope 3 が必要
アドオン モジュール	コネクター（1 データ・タイプ）	-	1コネクターあたり6	1コネクターで1データ・タイプまで取得
	コネクター（5 データ・タイプ）	-	1コネクターあたり7	1コネクターで5データ・タイプまで取得
	コネクター（10 データ・タイプ）	-	1コネクターあたり14	1コネクターで10データ・タイプまで取得
	API アクセス	-	7	
	シングル・サインオン	-	6	
	マルチカントリー	1	5 カ国あたり1	1カ国はデフォルトで含む

Deloitte.

デロイト トーマツ

デロイト トーマツグループは、日本におけるデロイト アジア パシフィック リミテッドおよびデロイト ネットワークのメンバーであるデロイト トーマツ 合同会社ならびにそのグループ法人（有限責任監査法人 トーマツ、デロイト トーマツ コンサルティング 合同会社、デロイト トーマツ ファイナンシャル アドバイザリー 合同会社、デロイト トーマツ 税理士 法人、DT 弁護士 法人およびデロイト トーマツ グループ 合同会社を含む）の総称です。デロイト トーマツ グループは、日本で最大級のプロフェッショナルグループのひとつであり、各法人がそれぞれの適用法令に従い、監査・保証業務、リスク アドバイザリー、コンサルティング、ファイナンシャル アドバイザリー、税務、法務等を提供しています。また、国内約30都市に約1万7千名の専門家を擁し、多国籍企業や主要な日本企業をクライアントとしています。詳細はデロイト トーマツ グループ Web サイト（www.deloitte.com/jp）をご覧ください。

Deloitte（デロイト）とは、デロイト トウシュート マツ リミテッド（“DTTL”）、そのグローバル ネットワーク組織を構成するメンバー ファームおよびそれらの関係法人（総称して“デロイト ネットワーク”）のひとつまたは複数指します。DTTL（または“Deloitte Global”）ならびに各メンバー ファームおよび関係法人はそれぞれ法的に独立した別個の組織体であり、第三者に関して相互に義務を課しまたは拘束させることはありません。DTTL および DTTL の各メンバー ファームならびに関係法人は、自らの作為および不作為についてのみ責任を負い、互いに他のファームまたは関係法人の作為および不作為について責任を負うものではありません。DTTL はクライアントへのサービス提供を行いません。詳細は www.deloitte.com/jp/about をご覧ください。

デロイト アジア パシフィック リミテッドはDTTLのメンバーファームであり、保証有限責任会社です。デロイト アジア パシフィック リミテッドのメンバーおよびそれらの関係法人は、それぞれ法的に独立した別個の組織体であり、アジア パシフィック における100を超える都市（オークランド、バンコク、北京、ベンガルール、ハノイ、香港、ジャカルタ、クアラルンプール、マニラ、メルボルン、ムンバイ、ニューデリー、大阪、ソウル、上海、シンガポール、シドニー、台北、東京を含む）にてサービスを提供しています。

Deloitte（デロイト）は、監査・保証業務、コンサルティング、ファイナンシャル アドバイザリー、リスク アドバイザリー、税務、法務などに関連する最先端のサービスを、Fortune Global 500®の約9割の企業や多数のプライベート（非公開）企業を含むクライアントに提供しています。デロイトは、資本市場に対する社会的な信頼を高め、クライアントの改革と繁栄を促し、より豊かな経済、公正な社会、持続可能な世界の実現に向けて自ら率先して取り組むことを通じて、計測可能で継続性のある成果をもたらすプロフェッショナルの集団です。デロイトは、創設以来175年余りの歴史を有し、150を超える国・地域にわたって活動を展開しています。“Making an impact that matters”をパーパス（存在理由）として標榜するデロイトの約415,000名の人材の活動の詳細については、（www.deloitte.com）をご覧ください。

本資料は皆様への情報提供として一般的な情報を掲載するのみであり、DTTL、そのグローバル ネットワーク組織を構成するメンバー ファームおよびそれらの関係法人が本資料をもって専門的な助言やサービスを提供するものではありません。皆様の財務または事業に影響を与えるような意思決定または行動をされる前に、適切な専門家にご相談ください。本資料における情報の正確性や完全性に関して、いかなる表明、保証または確約（明示・黙示を問いません）をするものではありません。またDTTL、そのメンバーファーム、関係法人、社員・職員または代理人のいずれも、本資料に依拠した人に関係して直接または間接に発生したいかなる損失および損害に対して責任を負いません。



IS 669126 / ISO 27001



BCMS 764479 / ISO 22301